

令和4年度経営発達支援計画 事業評価報告書

評価者 日本政策金融公庫北見支店 支店長 松 木 健太郎 氏
税理士 渡 邊 直 喜 氏
紋別市産業部 部長 高 橋 秀 明 氏
紋別商工会議所 専務理事 今 井 晃 氏
紋別商工会議所 経営指導員 曾 根 大 希 氏

【令和4年度 実施事項評価表】

項 目	事業評価
1. 地域の経済動向調査に関すること	A
2. 需要動向調査に関すること	B
3. 経営状況の分析に関すること	B
4. 事業計画策定支援に関すること	C
5. 事業計画策定後の実施支援に関すること	C
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	D
7. 経営指導員等の資質向上等に関すること	A

【意見】

セミナーは計画値以上の実績があるが、参加者数が少ないようなので、市役所や金融機関へも周知について協力を求めるといいのではないだろうか。セミナーを経営分析や事業計画作成を行う事業者の掘り起こしのために行うのであれば、周知方法について検討すべき。

需要動向調査のテストマーケティングについては、アンケートの母数が少ないと偏ったものになりかねないので、出てきた結果をどのように生かすか慎重に見極めて、事業者にフィードバックしてほしい。

事業計画は当事者意識を持った計画策定支援を行ってほしい。

計画を作らなければ、経営状況の良し悪しが外部要因にのみ依存してしまうので、自分目線をもった経営をすることを意識付けするためにも計画は作って欲しいと思う。

経営指導員の資質向上については、OJTとして専門家個別相談に経営指導員が同席しているとのことであるが、専門家が持っている専門知識よりも事業者の課題を聞きだすために専門家が行っているコミュニケーション術を学ぶといいかと思う。

少ないマンパワーでしっかりやっていると思う。件数より中身が大事である。経営分析や事業計画作成の必要性についても多少理解してもらったとか、経営改善の必要性を感じてもらえれば地域のためにもなるかと思う。引き続きしっかり取り組んでほしい。